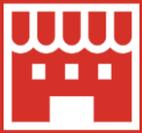


奈良県立大学生協 店舗部門による企画～単位パン企画～



[店舗]

取り組み概要

日時：2023年1月25日～27日
場所：奈良県立大学生協食堂購買
組合員の反応：2日目の午後に50個完売。

概要：奈良県立大学生協学生委員会店舗部門による考案。例年より多くの単位パンを仕入れることが決まり、3日間かけて、50個限定販売を行った。

専務公認「単位パンを売りさばいた男」達の努力の結晶

POINT.1

きっかけは、友人の何気ないひとこと

装飾企画の始まりは、昨年（2022年）の冬。学生委員会店舗部門長の友人が「単位パンを食べてみたい」と話していたことが契機となりました。そこから「生協学生委員会の企画に繋がれば、もしかしたら売れるのではないか」と考えたことにより、立案に至ったそうです。

友人とのたわいのない会話にすぎないかもしれませんが、広義で見れば、奈良県立大学生協のいち組合員の声、ともいえます。組合員の何気ない声をダイレクトに拾い上げ、実際の企画に結び付けている点が教訓的です。



POINT.2

声を受け、鉄の熱いうちに相談！



職員と学生委員会の距離の近さは、奈良県立大学生協の強みのひとつ。Point 1 の出来事を受け、単位パンの仕入れが可能かどうかを、学生委員会側からすぐに相談したそうです。学生委員会の行動力に脱帽です。

さらに、早めの相談が功を奏し、毎年4個程度しか入荷させていなかった単位パンを、50個入荷することが決まりました。組合員の声を受け、すぐに移した学生委員会の行動が、例年より多くの単位パンを販売するという結果に結びついていました。

POINT.3

期間限定だからこそ、目につきやすい場所で装飾を

本企画では、3日間という短い期間での限定販売を行いました。学生委員会と職員で売り場の位置を熟考し、普段お盆を置いている箇所に特設コーナーを設けることに。入店時、確実に目に入る場所に設置することで、組合員の目をひくことに成功しています。

そして、なんといっても特筆すべきは、インパクトのある装飾。「1日1単位パン」「落単しそうなあいつに、単位パン」など、思わず笑ってしまうキャッチコピーを用いることで、組合員の購買意欲をそそっていました。期間終了を待たずして完売したのも、納得です。

